

第16号

K  
O  
L  
A

発行

昭和54年

6/20

編集

岸和田

OL同好会

事務局

# 昭和五十四年度を迎えて

—岸和田のOL満四年目—

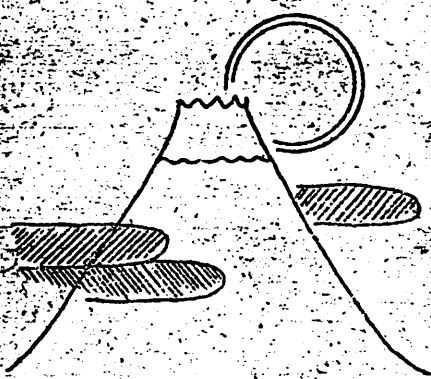
私等は誰も健康であれと願っている。それで山野を歩き廻っている。山野を歩き得る者は健康であるといえる。それと同時に健康で生き甲斐のある生活をしたたいと願っている。

これ等の目的でOL同好会に入れた。入会して自分を更なる眼が出来て良かったと思は

ねば、入会した意味がない。

そしてただ歩いたりつまらん所でも、OLの者なら、また興味しんしんで面白い所にもなる。その上友人も天山出来た。他地区の人々との交流も出来た。自然の恩恵に接したおかげと思う。かくして私等は、一つの線で結ばれる。私等のゲレンデは大きい。そして無限である。十分に足腰を

のぼして登んだ空気を胸一杯吸おう。足下だけでなく、地図だけでなく、四方をながめてすばらしい自然の観察も忘れずに。満四年目を迎えて特に痛感する次です。



お正月の山行——平松 正人——

毎年お正月の二日に友人と二人で冬山へ登ることにしていたが、今年は暖かくてどこにも雪がなさそうだから大晦山の奥へ行つた。

広い道を行けば何なく目的地へ着けたのが、細い峠道を行つた。昼なお暗い林の中で

石山道であつた。途中二人の講師に会つたほか、誰にも会わない。コンパスは目的地南方を指している。

峠と思われぬ地点で前途は閉鎖されている。どうもおかしいと思つたが、通れる縦走路と思われる道を行つた。た

んだん道は悪くなり、次々に

細くブツシユがひどくなり、とうとう道がなくなつた。コンパスの示す方向南方へ向つてブツシユ地帯を突破した。

ひどいツル草地帯で首へかか

つたり、展元へひかかつたり、それを乗り越え、やつと

2時間35分29秒の大奮闘

信太山0.1に参加して(3月18日) 松原 佐和

久しぶりの参加なのでPCで

申し込んだのですが、行つてからDBに変えました。

スタート地点はわりと遠く

20分位の所になりました。1番はスムーズに見つかりまし

散出した。下の村できくと

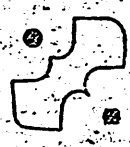
かなり目的地を離れた東側へ

でていた。目的地へ行く時間

がなく、仕方なくへ向つた

近い山程、ブツシユがひどく

歩きづらい所が多い。



だが、2番は道からそれた所

にあつたので少しとまどいま

した。3・4・5・6も同様

でした。でもそれからが悲劇の始まりなのです。地図ではちゃんと道もついている所に

あるのに、違う道から行ったのでわからなくなってしまうました。もどった方がいいとわかってたのですが、めんどうだったのでそこで捜していいました。なんとそこで3つもポストを見つけたのです。でも全都遠っていましたが数字が7番のポストの数字と近かったので、きょとこの辺にあると思っていました。もういやになって、パナルティにしようと思っていた所に、一つのポストが目に入って来たのです。走って行って見ると7番のポストだったので、多分これを捜すのに一瞬間位しかかかったと思います。道の真横にあって、その道を歩いて

いると自然に目に入ってくる所にあるのです。あほらしいことです。8、9、10番はまあかんたんでした。所要時間は二時間三十五分二十九秒でした。一位の人との差はなんと一時間四十分位もあるのです。なまけないことです……。



大阪市大主催

信太山〇大会に参加

毎年三月に当回会主催の

大会を開催していたが、五

月に丁この大会が決まったのでそれに全力を尽くす事にして、その代り当大会に皆さんで参加しようかと相談していた。

前日はあいにくと一日中雨天であった為か、グループに参加する予定の皆さんが欠席通知あり私一人の参加になった。しかし個人コースに坂本松原ファミリーが参加して、なかなか盛会であった。

ゲレンデは案に相違してよく乾いていた。集会場所の大阪野外キャンプ場では、市大の若しスタッフは前夜キャンプをしたらしく天山天幕が張ってあった。

私はまだ完全に回復してい

ないし余り長いコースは不  
でもあるからグループの  
コースに挑戦した。走行可  
ったかとても走れない。終  
歩いた。出発点で地図を  
ったが、中々立派な五色  
で紙質も厚く、参加料が  
が値打がある。私は水く  
ンデを離れていた為にか  
鈍ってウロウロした。No  
村の中を抜ける所で間違  
あわてた。信太山では何  
失敗を繰返しているの  
に行動した。No  
入をとった。通過困難  
もなんのその。こんな  
思っただけだがやっ  
かじりついた。もうす  
とんだ目にあう所であ

ジャンプがなくなっている  
んですね。No  
だ。これこそ信太山の山  
る。今水さい鉄塔が違  
る。No6は広い道の交点  
くであった。早合点して  
の交点をせんでさ  
う一つ向うの交点であ  
切株と書いてあるから  
株を探していたら大き  
につけてあった。No7

大きい円型の鉄の建物が  
ていた。航空レー  
ガードマンが警戒して  
久しぶりに汗をかいた。然  
し再々コースを廻らない  
ンが鈍る事が分った。一  
あった。一位が1時間11  
私は1時間56分でも位だ

平松 正人

### 3/21(祝) 加西オリエンテーリング大会

松原 たかし

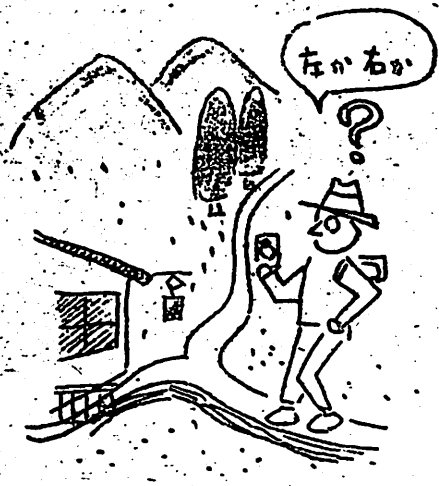
3月21日の春分の日、春休  
みでヒマなせいにか  
気而起した私は、遠く兵庫

滝野町まで久々に朝早く起  
て出かけた。先の18日の信太  
山での大会では3位までには

はいることが出きると思っていたのにもかかわらず5分を終ったので今度こそ一等賞を……と組んでいたのはいうまでもない。しかし大阪駅で予定していたバスが満席で乗れずに池田先生フマミリーなどに先を越され、曇り空で雨が降りそうになり強い風が吹いてきたりしたのでいい加減不安になったものの、スタート時にはなせか一等賞になれるような気がしたりして勢いよく走り始めたのである。このゲレンデは中央部を中国自動車道が横切っておりほとんどが低い山のような丘陵地帯であるが、耕作地を除いてはほとんどが低い木におおわれ

ており見通しは良くない。したがって道のなるところを通るのは非常に困難を極めるが地図が非常に良く出まていたので地図上の道に忠実に進むと楽々ポストを見つけた。最初のポストこそ遠まわりをしてみました。が、以後はほとんど迷うことなく最終ポストまで検閲に行くことができた。特に中盤から、7のあたりでは走りつ放しで独走であった。(周囲に人がいなかった)だけの話である。(終盤に入ると、不細工に見えるが勘が鋭い中学生くらいの男の子(別のコースであろう)に先行されかかったので意識しすぎで失敗しかかったところもある

った。しかし無事に最終ポストに着き、あとは白テープにそってゴールまで350Mだけとなりひと安心したのである。しかし私の間違いはここから始まった。最終ポストは



道の分岐となっており、今まで来た道の続きと、本で柵をしてある道がほぼ同じ向きにつけられておりゴールへは柵を越えて公園の中の広い道を

行くのであるが、それに気付かず今まで来た道の続きを行ってしまっただのである。それだけだとテープがないことからすぐに気付いて引き返したであろうに、こちらにも白いテープがついてありテープに右って行けばゴールに行けるという安心感からどんどん走っている、行けども行けどもテープがついているがゴールが見えず、山の中もどんどん行っているのをおかしいなとも思いはしたが確かにテープはついてるので進んでいった。すると前から女の人が出て来ておかし、というのでやっ、これは別のテープなのかと鬼いとの女の人へ似た

社大のシクラブとよおかしいおかしと言いなから最終ホストまで戻り、やっ、とわかってゴールインしたわけであるが、ゴールの係の人に又句を言っ、てからよく考えてみると地図や方角をよく確かめなかつた私も不注意(地図はゴール周辺は明らかではないが)であつたよう反省している。次である。結果的にはそれで20分ほどおくれたようである。

1時間39分。18人中10位であり、甚だ不本意な成績であつた。しかしAコースで走る自信もついたのでそれなりに評価できると思う。成績は悪かつたが気持ちのより一日であつた。帰りは滝野駅から、国鉄・神鉄・阪急と乗り継いで帰つた。54・3・21の歴史的日付を載せている滝野↓130円区間の切符はOLマップと共に保存することになっている。

## 昭和54年度 役員構成

会長	——	瀬戸 照久
副会長	——	松阪 喜雄
会計	——	平松 正人
幹事	——	森 源一
	清水 昭夫	前中 淳
	寺田 強	坂本 晴文
		大西 明雄
		大津 豊

# 会長交代について

平松 正人

当会創立以来第四年を経て  
会の基礎も出来、又昨年は日  
本のし委員会の公認を勝ち取  
り得た事は、御同慶の至りで  
あります。

然し会員数が一向に増加せ  
ず、尚かつ平均年齢が上り、  
活動も低調であります。

皆様と共に一生懸命新会員  
の獲得に努力しているものの  
中々増加しません。えは一に  
会長である私の不徳の致す所  
とがねて考えていました。そ  
の上昨年体調を崩し、すべて  
の活動を休ましてもらって  
います。

かかる有様では益々活動が  
低調になり会員諸氏にも迷惑  
をかけるのみと思っていまし  
た。新会長に代って頂ければ  
会の活動も一段と活況になり  
得ると考えていました所、幸  
い年若い活動力に富む、瀬戸

新会長を得まして、ここに我  
が会の発展は期待すべきかと  
思いますれば、何卒会員諸氏  
は私同様力を合して新会長に  
力添えをお願いする次で  
あります。

4/22

第8回和泉市O.L大会に参加して

主催 和泉市体育指導委員会 — 平松 正人

晴天に恵まれた晩春の良き  
日であった。いつも感じるん  
ですがスタートラインに入っ  
た頃から動悸がムネムネして  
血圧が上り、カーポイントへ  
着くあたり迄はキツキツし  
です。然し反面ふだんは何の  
刺激もない生活をしているか

らこれも時により心身に刺激  
を与えて、健康にいいのでは  
ないかと思えます。この動悸  
は昔の受験時代を思い出す。  
私の前には申学生が二人。  
彼等は池田先生にしこまれて  
いるらしい。何とか彼等を追  
い越すつもりであったが、と

うとうほっていかれた。

①②③は順調に見つかつたが③から④への道でどう間違つたか、私は250m辺で細道を入つた。尾根へ出て右往左往してもあらばこそ。80mの三角点を見付けてついに断念して下れば⑤が見付かつた。僕は残念だと思ひ④まで引返した。全く楽な峠道であつた。

あ、万葉露す。最早附近に人影がない。えーままよとテクテク歩く。レンジ畑を見れば寝ころんで青空を見たくなる。小川のせせらぎを聞けば一杯飲みたくなる。ツバを飲みのみ歩く。⑧は尾根の肩となつていたので、てつきり左手の尾根筋にあるものと思つてか

け上れど見えす。も一度地図を見れば右手の下のやぶの中にあつた。これでも尾根の肩というんですかね。

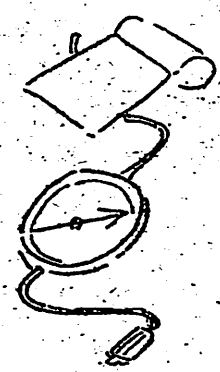
⑨まで来たらパトロールの方と会つた。心配して迎えて来てくれたらしい。まだまだ歩けると、重い足を引きつづつてゴールイン。何とラストよ

春の市長イキグチ

山岳連盟の同好会共催

参加者、平松・坂本・松坂一家・竹中母娘・上田・松原さん等総員29人である。飛鳥駅前で挨拶する。坂本さんはかつて中学生を連れて

り遅れること40分。然し久しぶりに汗をかいてすつきりした。心配した血圧も測つたら、さうと下つていた。



まただけに非常に精通している。

駅前で村の地図を買い又のマップも買った。矢野鬼の雪隠や廻石・龜石やら。松本清張の推理によればかつてイラシ人が来て巨石文化を伝えたというさもありなんと思つた。村全体が風致特別区に指定さ



れ新築もままにならぬという  
 が、中々立派な家が幾々と建  
 ちつつある。又、いたるところに  
 馬車場あり、道路が整備  
 され、おどろきの一語につき  
 る。道路を良くすれば車が入  
 るし嫌なものだ。

畑にレンゲが咲き乱れ、森  
 に木が葎れ、家々の矢にツツ  
 ジが真盛りで、新緑に映えて  
 いる。それだけに人も多い。  
 然し我々は坂本さんの案内  
 で細い農道ばかり歩いた。

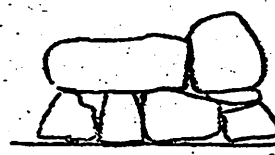
石舞台は今や公園となり周  
 囲に藁をめぐらしておどろく  
 程愛っていた。

岡寺ではツツジと牡丹が最  
 中であった。公園の緑陰でお  
 弁当とする。

ここから農道を過って海  
 沿い。稲穂はおいかわら  
 ず、甘藷丘に登ら  
 ず、大和三山  
 は一望の内に。又、明日香村  
 全体も目の下。この丘を南へ



通給石



石舞台

縦走して元の駅へ帰った。こ  
 れで明日香の中心部を小廻りし  
 たわけだ。平松 正人 記

野回りのオリーブの森

を省りみて

平松 正人

今年のJCOシ大会日程について話合の成果、5月5日  
 のフェスティバル終了後にして欲しいとの事で、5月20日  
 に決った。そして趣向を少し変えてヌコマのOシをしよう  
 と話がまとまり、ゲレンデも乗り良い教習キャンプ場を中  
 心に半徑一里以内の定め、これを三ヶ分して各ブロックの  
 調査員をきめて調査に入った。

各係がブロック内に15〜20のポイントを作りこれを総合調査責任者、松坂さんの手元に集めた。松坂さんは一応全部のポイントをまわり、取捨選択して総計所に集約したのです。スコアの事なので地図の印刷と同時にポイントも印刷しなければならず、可成り忙しきことで、と申僅三日前に出来上がった。出来ばえは今迄にない立派なものではない満足している次第です。

当日は幸いに好天に恵まれ暑い位であった。午前8時に各ブロックの係がセッティングに出発。私達のブロックのセッティングだけに約2時間かかった。少し散らばりすぎた感がある。11時に市裏も来てくれて、12時、個人。12時10分グループが発見した。個人は40分、グループは120分にした。皆さん中々慎重にやって時間ギリギリまで帰らない。皆汗びっしりで帰って来た。ゴールで倒れる人さえあった。グループの方は皆総々たるものだ。中には得点よりパネルの点のほうが多かった組もあった。しかし和言ありありに終った。地田さん御夫妻の活躍にはいつもながら驚く。200点以上集めた。



五才の子供と OL 大会初参加

6/3 第四回 松原市民OL大会

——幸田 強——

昨日より今日の天気は曇り勝ちな天候という予報で、これは山歩きにはよいぞと思っ  
ていると、それ以上の良い天気、暑くなりそう。さ、よく朝食をすませりユックミ子供に背おれせ、私は水筒のみ。泉大宮から泉大津へ南海電車。そしてバスで府中へ。そこから山荘行きのバスに乗り変えるつもりがさあ大変。5分前に出たばかりという。これは1時間後の10時45分。これはスタートに遅れる。タクシーはなし。バス車庫の方に

聞くときまで20〜30分くらいと  
いうことなので、思いきって  
歩き始め。それがいけどもい  
けども笑は長い。子供と一緒に  
に。アメダをしゃぶり、所計  
を気にしながら黒鳥山へと。

これではスタートへ着くまで  
ダウンするのではと思いなが  
らも、ひき帰すのも腹が立つ  
し、よしてやつと45分位がか

って到着。もうスタート終了  
時刻も間近か。休む間もなく  
子供をせきたてて、バタバタ  
とスタート。もうめっちゃめち  
ゃという感じ。子供も後から  
私につつかれるので、とにかく  
くホスト、いへ。ここから子供  
の表情もかわる。ホストを見  
つけてクレヨンでよめたのが

うれしりのか、次へ走ってい  
く。注意書きが道しるべの代  
りをしてくある。こころもす  
ぐ見つかる。そして、4あたり  
から、ウロウロしてける人達  
が見える。こちらはまあ、調  
子もあつた。こころで教  
をおい越した。小屋の右手へ  
左手が広い道へのゆるい道を  
道。ワでちよつとナがした。

少し地形と地図が違ふようた  
？。8・9・10を見つげ、ゴ  
ルイン。所要的1時間半。コ  
ースは起伏に富み、あちこち  
で山つらじが咲き、子供とも  
どもひさしぷりに自然の中で  
楽しんだ。距離は主催者のパ  
ンフレットで約4km。我達は  
府中から続けて歩いたため、

何かあつたことか。帰りは松  
譜に参加された松原さんの車  
に便乗させていただき、家に  
帰ってさつとよく昼寝となつた。  
順位は家族のAグループ5位。  
子供をつれて大会初参加で府  
中より歩きつづけたという条  
件では良すぎた記録か。子供  
も次もまた参加と楽しんでい  
る。

主催者よりの議論として、  
簡単なコースでも地図をよく  
読み、コンパスはネックレス  
ではないのだから必ず方位を  
確認して、道の交点では左右  
をたしかめ、他の人にまどわ  
されずに自分で判断をするこ  
とというのでした。

新入会者

№26 大西 明雄

野田町2-9-1

22-2753

二級申請中

退会者

№18 西河 隆三  
友田

南上町1-34-4

堺市百舌鳥赤畑2-173-12  
スカイハイビル209

息

瀬戸さんー一月十五・六日徳島県における西日本O.L.

大会に参加。優秀な成績で入賞。

消

松原さん一家+瀬戸さんー4/22泉南箱作りの大会に参加

優秀な成績をおさめる。

員

森さん夫妻+平松さんー4/22和泉市体育指導委員会

に参加。

会

坂本さんー筑波川堤。飲まず食わず50kmに挑戦。克歩

しる位に入る。



今年もすでに

梅雨の真中になりました。皆様

は梅雨にもまけ

ず、健康で、仕事に、勉強に

そしてO.L.にと、がんばって

いることでしょう。

さて今回から、機関誌、K

O.L.A.を今後一年、私が担

当することになりました。い

ろいろと私なりに考えたいて

思いますが、皆様の御協力を

心よりお待ち致します。どう

ぞよろしくお願ひします。

O.L.以外のこともなんな

りとして、あれがよかった？こん

なことは、いろいろんな投

稿も……。

幸田 強